

令和8年6月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	4	議席 番号	4	氏名	平 下 尚 己 議員	1 / 3
発言項目				要 旨		答弁者
1	指定ごみ袋の安定供給と非常時における柔軟なごみ収集体制について			<p>本市では現在、中東情勢等を背景とした不安の高まりにより、市指定ごみ袋の品薄が一部店舗で発生している。そのような中、市は令和8年5月12日から6月30日までの間、指定ごみ袋が入手できなかった場合に限り、透明または半透明袋によるごみ排出についても収集を行うと発表した。これは、市民生活への影響を最小限に抑えるための迅速かつ柔軟な対応であり、まずは評価するところである。</p> <p>一方で、今回の対応は、指定ごみ袋制度が安定供給を前提として成り立っていること、また非常時における運用基準の整理が重要であることを改めて示したものとする。</p> <p>そこで、本市の今後の制度運用について、以下伺う。</p> <p>(1) 現状認識について伺う。</p> <p>① 今回、市が透明・半透明袋によるごみ排出を認める判断に至った経緯と、現在の供給状況をどのように把握しているのか。</p> <p>② 指定ごみ袋の品薄状況について、市としてどの程度の影響を想定しているのか。</p> <p>③ 販売店、流通事業者、メーカー等との情報共有や連携体制はどのようになっているのか。</p> <p>(2) 今回の柔軟な運用について伺う。</p> <p>① 今回の特例対応における発動基準はどのようなものであったのか。</p> <p>② 透明・半透明袋の使用を認めたことによる分別・不適合排出・収集現場 への影響をどのように想定しているのか。</p> <p>③ 今回の対応について、高齢者・外国人住民・転入者などへの周知は十分であったと考えているか。</p> <p>(3) 今後の制度整理について伺う。</p> <p>① 今回の対応を一時的措置で終わらせるのではなく、供給不足時・災害時・緊急時におけるごみ排出ルールとして、事前に運用基準を整理・明文化する必要があると考えるが、見解を伺う。</p> <p>② 例えば、透明袋プラス確認シール方式・臨時代替袋・発動条件の事前設定など、非常時対応マニュアルを整備する考えはあるか。</p> <p>③ 高齢者や買い物困難者への対応として、移動販売・地域包括支援センターとの連携・官民連携による供給支援などを検討する考えはあるか。</p> <p>(4) 官民連携と危機管理について伺う。</p> <p>① コンビニエンスストアやドラッグストア等との連携による、指定ごみ袋の安定供給体制構築について見解を伺う。</p> <p>② 今回の事例を踏まえ、指定ごみ袋を「生活インフラ」の一部として位置づけ、危機管理の観点から備える必要があると考えるが、市の認識を伺う。</p>		市長 副市長 教育長 関係部長

令和8年6月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	議 席 番 号	氏名	要 旨	答弁者
4	4	平 下 尚 己 議員		2 / 3
		発 言 項 目	要 旨	答 弁 者
			(5) 今回、市民の理解と協力により、大きな混乱を避ける方向へ進んでいることは大変重要である。だからこそ、平時から非常時運用を整理し、「守るべきルール」と「守れる仕組み」を両立させることが必要であると考えているが、今後の制度設計の方向性について、市の見解を伺う。	
2		市民の健康づくり・スポーツ・交流活動の場の確保について	<p>近年、市民の健康づくりや生涯スポーツへの関心が高まる中、市内の体育館やグラウンド、交流センターなどの公共施設は多くの市民に利用されている。</p> <p>その一方で、夜間や休日を中心に希望する日時に予約が取れないとの声も聞かれる。また、交流センターでは健康体操や軽スポーツ、レクリエーション活動などを行う団体が増加しており、本来集会室を希望する団体が、予約が取れず会議室を利用している事例も見受けられる。</p> <p>市民の健康づくりや交流活動の需要が高まる一方で、活動場の確保が課題となっているのではないかと考える。さらに、市内には利用されていない倉庫や休止中の施設など、十分に活用されていない空間も存在していると考えられる。</p> <p>人口減少社会においては、新たな施設整備だけでなく、既存施設や未利用空間を有効活用する視点も重要であることから、以下、質問する。</p> <p>(1) 市内の体育館、グラウンド及び交流センターについて、稼働率・予約状況・抽選倍率・利用希望に対する供給状況をどのように認識しているのか。また、市として市民活動の場は十分に確保されていると考えているのか伺う。</p> <p>(2) 交流センターにおいて、軽スポーツ・健康体操・レクリエーション活動などを目的とした利用状況をどのように把握しているのか伺う。また、希望する部屋が利用できず、代替的に会議室等を利用している実態を把握しているのか伺う。</p> <p>(3) 市民の健康づくりやスポーツ活動、地域交流活動の需要が今後さらに高まると考えられるが、市としてどのように対応していく考えか伺う。</p> <p>(4) 市は、市内に存在する遊休施設や未利用施設について、スポーツ活動や健康づくり活動、地域交流活動の場として活用する可能性を検討したことがあるのか伺う。</p> <p>(5) 使用されていない倉庫等の大空間施設については、改修により、こどもの運動教室・雨天時のスポーツ活動・高齢者の健康体操・介護予防事業・障がい者スポーツ・多世代交流活動など、多目的な屋内活動施設として活用できる可能性があると考えているが、市として、このような既存空間の活用についてどのように考えているのか伺う。</p> <p>(6) 今後、市民活動の場を確保していくために、公共施設だけでは対応しきれないスポーツ・健康活動・地域交流活動需要に対し、市内の未利用施設や遊休空間も含めた活用の可能性について調査、研究する考えや、所有者と利用希望団体等をつなぐ登録制度やマッチング制度の構築について、市の見解を伺う。</p>	市長 副市長 教育長 関係部長

令和8年6月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	4	議席 番号	4	氏名	平 下 尚 己 議員	3 / 3
発 言 項 目				要 旨		答 弁 者
				(7) 本市ではスポーツによるまちづくり、健康寿命の延伸、地域コミュニティの活性化を重要な施策としている。 今後、市民の健康づくりや交流活動を支えるため、「施設を新たに造る」という発想だけでなく、「今ある空間を活かす」という視点で取り組む考えがあるのか、市の見解を伺う。		